



古賀市記者懇談会（9月）

令和2年9月25日（金）13時30分～

舞の里小学校

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

FBS、J・COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ（50音順）

①中村哲氏へ古賀市名誉市民称号を贈呈【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは総務課 甲斐＝092－942－1112）

学生時代を当時の古賀町で過ごされ、NGO「ペシャワール会」現地代表としてアフガニスタン・パキスタンでの支援活動に長年取り組んでこられた中村哲氏へ古賀市名誉市民称号を贈る贈呈式を行います。中村哲氏の長女 秋子様、ペシャワール会事務局長の古川 正敏様にご出席いただきます。

②企画展&自然史・歴史講座講演会開催【P2】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは市立歴史資料館 黒田＝092－944－6214）

今年は、終戦から75年目になります。戦争を体験した世代が次第に少なくなり、戦争の記憶の風化が危惧されています。歴史資料館では、銃後の人々（戦場の前線ではなく後方で戦争に参加する人々）に焦点をあて戦時下のくらしの様子などを紹介する企画展「戦争とくらし～庶民から見た戦争～」を開催します。また、期間中の10月10日（土）には企画展とタイアップし、自然史・歴史講座講演会「戦争は社会をどう変えたか？～戦争と国民生活～」を開催します。講師に日本近代史の権威である有馬学氏をお招きし、戦争が社会に及ぼした影響などについてご講演いただきます。

③舞の里小学校の余裕教室が美術館に変身！【P3】

【古賀市教育委員会】（問い合わせは文化課 新本＝092－940－2683）

古賀市ゆかりの作家である赤星孝氏、信子氏ご夫妻の作品寄贈を契機に、文部科学省が進めている「学校施設の効率的な整備」の一環として、舞の里小学校の余裕教室が「舞小美術館」に生まれ変わります。本物の芸術に触れる場所が、子どもたちのすぐそばにある…。古賀市は、今回のプロジェクトのイメージ「子どもたちの感性と生き方を豊かにするまちづくり」への大きな一歩を踏み出しました。

※記者懇談会当日は、舞小美術館を活用した授業の様子をご覧ください。

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・10月20日（火）13時30分～
場所：古賀市役所
- ・11月25日（水）13時30分～
場所：古賀市役所

中村 哲氏へ古賀市名誉市民称号を贈呈

学生時代を当時の古賀町で過ごされ、NGO「ペシャワール会」現地代表としてアフガニスタン・パキスタンでの支援活動に長年取り組んでこられた中村 哲氏へ古賀市名誉市民称号を贈る贈呈式を行います。

■日時・場所など

日時・場所：10月6日（火）14時～ 古賀市役所 第2庁舎 市民ホール

出席者：中村 秋子 様（中村 哲氏の長女）

古川 正敏 様（ペシャワール会事務局長 古賀市出身 中村 哲氏の同級生）

市長 田辺 一城

副市長 横田 昌宏

教育長 長谷川 清孝

市議会議長 結城 弘明

市議会副議長 田中 英輔

■古賀市名誉市民について

古賀市民又は本市に特に関係の深い者で、本市の発展、公共の福祉の増進又は文化の発展向上に貢献し、その功績が顕著で市民が深く尊敬し感謝するに値するものに対し贈られる称号です。

令和2年の第1回古賀市議会定例会において、同意を得られたことから、中村 哲氏へ古賀市名誉市民称号を贈らせていただくこととなりました。

■中村 哲氏と古賀市との関わりについて

中村 哲氏は、小学校1年生から20代の後半まで当時の古賀町で過ごされました。少年時代は、山々をかけまわり昆虫観察に夢中になったそうで、当時の体験が登山を好きになったきっかけとなり、ペシャワール赴任へ導かれたと語られています。

2006年には、母校である古賀西小学校で用水路づくりの課外授業を行われました。これをきっかけに古賀西小学校では、ペシャワール会への募金活動を毎年続けています。また、古賀市の人権セミナーで講師をされるなど、古賀市において文化・教育の発展向上に大いに貢献されました。

■過去の名誉市（町）民

・三輪 修平 氏（初代町長）

・許山 秀哉 氏（二代目町長）

※名誉市民としては中村 哲氏が初

【問い合わせ先】

古賀市役所 総務課 総務係

担当：甲斐、後藤

電話：092-942-1112

企画展&自然史・歴史講座講演会 開催

今年は、終戦から75年目になります。戦争を体験した世代が次第に少なくなり、戦争の記憶の風化が危惧されています。歴史資料館では、銃後の人々（戦場の前線ではなく後方で戦争に参加する人々）に焦点をあて戦時下のくらしの様子などを紹介する企画展を開催します。また、期間中の10月10日（土）には企画展とタイアップし、自然史・歴史講座講演会を開催します。講師に日本近代史の権威である有馬学氏をお招きし、戦争が社会に及ぼした影響などについてご講演いただきます。

■令和2年度古賀市立歴史資料館企画展「戦争とくらし～庶民から見た戦争～」

・期間：10月1日（木）～11月8日（日）10時～18時（入場は17時30分まで）

※月曜日休館（月曜日が祝日の場合は翌平日休館）

・場所：リーパスプラザこが歴史資料館ギャラリー（市立図書館2階）

※入場無料

・内容

本企画展では、4つのテーマ構成で銃後の人々に焦点をあてた展示を行います。兵士になる道筋や戦争の長期化による庶民の日常生活の変化、出征する兵士を送り出す側の人たちの思い、また敗戦によってなにがどう変わったのかなど、戦時下のくらしの様子を中心に資料と共に紹介します。

【展示資料】 千人針・軍服

戦時下で発行された雑誌や本など



千人針

■自然史・歴史講座講演会「戦争は社会をどう変えたか？～戦争と国民生活～」

・日時：10月10日（土） 14時～16時 ※参加無料

・場所：リーパスプラザこが交流館多目的ホール

・演題：「戦争は社会をどう変えたか？～戦争と国民生活～」

・講師：有馬 学氏（福岡市博物館館長 / 九州大学名誉教授）

・対象：市民、市内に通勤・通学する人 ・定員：85人

・申込方法 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前申込制

往復はがきに、住所・名前（ふりがな）・年齢・電話番号、「自然史・歴史講座講演会参加希望」と明記し、歴史資料館へ郵送。1枚の往復はがきで2人まで（1組1通のみ）申込可能。

※はがきに名前の記載がない人は参加できません。

【宛先】〒811-3103 古賀市中央2-13-1 古賀市立歴史資料館

・申込期限 10月6日（火） 必着

【問い合わせ先】

古賀市立歴史資料館 担当：黒田

電話：092-944-6214

舞の里小学校の余裕教室が美術館に変身

古賀市ゆかりの作家、赤星 孝氏・信子氏ご夫妻の作品寄贈を契機に、文部科学省が進めている「学校施設の効率的な整備」の一環として、舞の里小学校の余裕教室が「舞小美術館」に生まれ変わります。本物の芸術に触れる場所が、子どもたちのすぐそばにある…。古賀市は、今回のプロジェクトのイメージ「子どもたちの感性と生き方を豊かにするまちづくり」への大きな一歩を踏み出しました。

■実施スケジュールなど

- 令和2年2月 赤星夫妻のご遺族から作品寄贈の申し出
- 3月 舞の里小学校が余裕教室の活用を快諾
余裕教室改修及び寄贈作品選定
- 7月 作品寄贈手続き完了
- 9月 舞小美術館完成

■目的・アピールポイントなど

令和2年2月、福岡県立美術館で古賀市に縁の深い画家である赤星ご夫妻の作品展が開催された折に、ご遺族から、県展作品を含む数点の絵画の寄贈の申出をいただきました。それを受けて、子どもたちのために小学校の余裕教室を利用して、絵画を展示できないだろうかという考えから、「子どもたちの感性と生き方を豊かにするまちづくりプロジェクト」が始動しました。

その後、福岡県立美術館やNPO法人古賀市文化協会と協力し、展示方法の検討や作品の選定など経て、プロジェクトの成果である「舞小美術館」が完成し、本日お披露目します。この舞小美術館は展示スペースと所蔵作品の収蔵庫を併設しているため、掛け替えることでいろんな絵画を鑑賞できるように設計されています。

文部科学省が進めている「学校施設の効率的な整備」の一環として、学校の余裕教室の有効活用に先駆ける当プロジェクトの特徴は、子どもたちが本物の芸術に「いつでも」「すぐに」触れることができるということです。今後この舞小美術館が子どもたちの感性を育む場となるとともに、子どもたちが気持ちを落ち着かせたいときに自分の時間を過ごせる場など、さまざまな活用を検討していければと考えています。

本日は、舞小美術館を活用した授業の様子をご覧ください。

【問い合わせ先】

○作品について

古賀市教育委員会 文化課 文化振興係
担当：新本 電話：092-940-2683

○舞小美術館について

舞の里小学校 校長 野中 慎治 電話：092-942-0381